TAMASHIN REPORT 2019.12

2019.4.1 → 2019.12.31

── 多摩の明るい未来を目指して──

多摩信用金庫

第３四半期までの取り組みと その結果についてご報告します。

いつも**たましん**をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
2019年4月から12月までの私たちの取り組みとその結果をご報告します。
今年度も多摩の明るい未来の実現に向けて、お客さま、地域社会が抱える課題の解決に取り組んでまいります。
今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長 八木敏郎

― 多摩地域の活性化のため、さまざまな活動に取り組んでいます。―

企業・事業者への支援

第17回多摩ブルー・グリーン賞

17回目を迎えた多摩ブルー・グリーン賞は、135件のご応募をいただきました。最優秀賞にマイクロテック・ラボラトリー株式会社（技術・製品部門）、東京システム運輸ホールディングス株式会社（経営部門）、その他優秀賞4件、多摩みらい賞6件及び特別賞2件を決定し、12月16日に表彰式を行いました。

第17回多摩ブルー・グリーン賞 表彰式

創業者フォローアップスクール

創業期から成長期に向けて必要な財務や会計知識を身につけられる創業者フォローアップスクールを実施しました。今年度は東大和市、国分寺市、町田市の3会場で実施し、25名の方にご参加いただきました。

講義中の様子

Airペイ・StarPayAplus取扱開始

企業・事業者の決済手段拡充をサポートするため、新たに「Airペイ」、「StarPayAplus」の紹介業務を開始しました。サービスラインナップを取り揃えて、クレジットカードや電子マネー、QRコード決済などのキャッシュレス決済サービス導入を支援しています。

TAMA NEXTリーダープログラム

多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成する経営者塾「TAMA NEXTリーダープログラム」の第12期生20名が卒業式を迎えました。カリキュラムを通して、財務やマーケティング、マネジメント等の知識を修得するだけでなく、歴代卒業生との交流を通して、経営者としての心構えも学ぶ機会となりました。その集大成として受講生一人ひとりが自社に対する想いや今後の数値計画、ビジョン等を卒業式で発表しました。

ビジョンを語る受講生

個人の皆さまへのお手伝い

タブレット端末にライフプランシミュレーション機能を追加

お客さまサービス担当が外訪時に携行するタブレット端末に、お客さまの暮らしやライフイベント、将来へ向けた人生計画を入力することで、家計収支のシミュレーションをご案内できるようになりました。ご自身やご家族の夢をかなえるライフプランを一緒に考え、お客さまの豊かな暮らしの実現に取り組んでまいります。

タブレット端末でご案内

遺言・相続 全国一斉相談会

「遺言の日」である11月15日（いいいごん）に、日本弁護士連合会等による「遺言・相続全国一斉相談会」がたましん相続あんしん館で開催されました。
当日は「お子さまがいないご夫婦」「以前作成した公正証書遺言の内容変更を検討している方」「ご自身の万一に備え親子で来店された方」等が参加されました。円満な相続となるよう、遺言書を作成する方が増えています。
相続あんしん館では遺言・相続に関するご相談に専門家と連携してお応えしています。

専門家との相談会

子育て応援特別講演会「尾木ママ流 共感子育て」

昨年度立川で開催し、大変ご好評いただいた尾木直樹氏による講演会「尾木ママ流　共感子育て」を今年度は、武蔵野市民文化会館で開催しました。当日は、499名のお客さまが参加されました。質疑応答のコーナーでは、子育て中のお金にまつわる疑問に尾木ママからアドバイスをいただきました。

尾木ママからのアドバイスに参加されたお客さまが共感

通帳アプリ（通帳レス口座）取扱開始

多摩信用金庫アプリ内に通帳アプリ（通帳レス口座）機能を追加しました。取引明細はアプリ上でご覧になれますので、ご記帳の手間がかかりません。紙の通帳から通帳アプリへの切り替えは、多摩信用金庫アプリ内でお手続きいただけます。

11月5日取扱開始

地域社会への取り組み

日本工学院八王子専門学校と産学連携の推進に関する連携協定を締結

日本工学院八王子専門学校と11月19日に産学連携の推進に関する連携協定を締結しました。7カレッジに多彩な学科を擁し、さまざまな分野で活躍する卒業生を輩出する同校と当金庫のネットワークを活かし、地域社会及び地域経済の発展に貢献していきます。

締結式にて協定書を取り交わす前野校長と八木理事長

情報交換会でのグループディスカッション

たま公民連携PPP・PFIプラットフォーム情報交換会

信用金庫を中心とした地域プラットフォームとしては全国初となる「たま公民連携PPP・PFIプラットフォーム」を運営しています。地方自治体や民間事業者など、多摩地域におけるPPP・PFIの関係者が一堂に集まり、情報交換会を定期的に開催しています。情報共有と対話を通じて地域課題の解決に取り組んでいます。

「ぷらっとこくぶんけん」イベント 地域資源体験型ツアー

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国文学研究資料館と「学術・文化の発展に関する包括連携協定」に基づく多摩学術文化プラットフォーム「ぷらっとこくぶんけん」事業に取り組んでいます。国文学研究資料館が保有する高い学術的価値を広く伝えるために実施したツアーは、江戸時代のお菓子の再現、燻した香木の香りを楽しむ香道、古典展示資料の解説など、古典の世界や魅力を「体感」していただく機会となりました。

資料館見学の様子

預金・貸出金について

地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は前期末比999億円増加し2兆8,406億円となり、貸出金残高は前期末比106億円増加し1兆826億円となりました。内訳をみると、事業性のご融資は82億円増加、個人のお客さまのご融資は24億円増加しました。

※ 個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。

▽預金積金残高

▽貸出金残高

損益について

業務純益は、低金利環境の継続などにより貸出金利息は減少したものの、有価証券利息配当金及び国債等債券売却益が増加したことを主な要因として、前年同期比26.7億円増加の55.6億円となりました。経常利益は前年同期比18.4億円増加の50.8億円、当期純利益は37.0億円となりました。

▽業務純益の推移

▽経常利益の推移

▽当期純利益の推移

有価証券の種類別残高内訳と評価損益の推移

資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。

※ 有価証券の種類別残高は2019年12月末における貸借対照表計上額です。
※ 右図の「その他」は、投資信託等です。

▽有価証券の種類別残高内訳
（2019年12月末現在）

▽有価証券の評価損益

不良債権について

金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は前期比39億円減少し644億円となり、不良債権比率も0.42ポイント低下し5.94%となりました。不良債権のうちの76.45%は担保・保証や貸倒引当金によって保全され、残りの23.55%にあたる151億円についても、自己資本により、全額カバーされています。

※ 金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。
※ 要管理債権の残高はありません。

▽債権総額と内訳

○本誌に掲載している計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいています。また、会計監査人の監査を受けていません。
○原則として単位未満切り捨て表示のため、合計・前期末比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。
○月末時点の計数については「○年○月末」、期間中の計数については「○年○月期」として項目表示しています。

たましんレポート 2019年12月期
多摩信用金庫
〒190-8681 東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
https://www.tamashin.jp
たましん

本誌に関するお問い合わせ
お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329
ホームページでも本誌やたましんに関するご意見・お問い合わせを承っています。

UD FONT

発行:2020年2月